

いなかのねずみととかいのねずみ

劇団バク R7.7.29



最初はお兄さんと手遊びなど
しながら楽しめました

今年度は「劇団バク」に来てもらい、イソップ童話の「いなかのねずみととかいのねずみ」の劇を全園児で観ました。
大きいクラスでは朝からソワソワ・ワクワクしているお友達が多くいて、ずっと楽しみにしていました。
お昼寝の後みんなでホールに集まり、最初はお兄さんと手遊びをしたりおもちゃのチャチャチャの歌を歌ったり、拍手の練習をしたりと始まる前の準備運動をしました。劇が始まると、集中しながら観ていました
お話の途中、ねずみたちが人間の目に見られたり、猫につかまってしまったりと、ちょっと怖い場面があったことで泣いてしまう子もいましたが、最後まで楽しく観ることが出来ました。



人間の目と猫が出てきて
会場はビックリ



あらすじ
いなかのねずみの家に、とかいのねずみが遊びに来るところから始まりました。いなかのねずみは畑で採れたイモやトウモロコシや豆を食べて生活しています。とかいのねずみにご馳走してあげようとしたが何も食べずに帰ってしまいました。「今度都会に遊びにおいで」と言われていなかのねずみは都会に遊びに行くと、人間や猫に狙われてしまい、隠れながら生活する体験をしたことで、怖くなってしまい慌てていなかに戻って行きました。
都会は色々な食べ物があるけれど安心して住めるいなかの方がいい、というお話でした。



大きいクラスと一緒に写真を撮ってもらいました